



START

事業の背景

百貨店の不振により、 他分野への販路拡大を目指す

新潟県内でも百貨店の撤退が発表される等、業界全体として売り上げと客数の減少に悩まされている。加えて、少子高齢化や人口減少によって消費の落ち込みは今後も続くものと予想される。そこで、まだ業界内でも実績の少ない「ホールガーメント」製法を導入することで、生産工程の合理化と受注増を目指した。「ホールガーメント」とは、縫い目のない無縫製のニットウェアのこと。立体的に編み上げられるので、セーターをゆったり着ることができ、新たな製法として注目されている。



ACTION

取組の内容

新しい製法で 生産工程の合理化を図る

通常のニットウェアは、前・後、袖とパーツごとに作ってから縫い合わせる。しかし「ホールガーメント」は、一着丸々編み機から作るため、裁断や縫製などの工程が不要となる。そのため、1枚あたりの作業時間は8時間から3時間に短縮。納期も短縮され、より多くの受注数に対応できるようになった。また、品質の改善にも繋がった。以前は不良発生率が編立・裁断・縫製で各1.5%だったが、編立のみの1.5%に減少。日本にはまだ導入企業が少ないこともあり、全国から注文をいただいている。



ABOUT

私たちについて

スポーツ関連からレディース まで幅広い製品に対応

メンズ・レディース問わず、ニット製品全般を扱うアパレルメーカー。1947（昭和22）年創業当初の主力商品は靴下だったが、海外の生産力が向上したことで、主力をセーターへ移行。当時メンズを中心に受注していたことから、取引先との関係の中でスポーツブランドとの出会いに恵まれ、現在スポーツ関連のアパレルでは一定の地位を確立している。スポーツ用の衣服を作るにはフル装備の機械が必要である。そのため、レディース等の他分野の衣服も製造が可能だ。



FUTURE

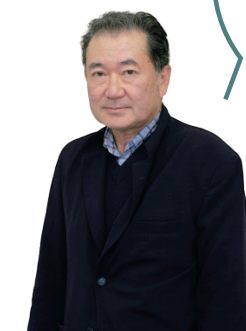
今後の展開

販路拡大で、 直販にも挑戦！

従来の百貨店やセレクトショップへの販路拡大はもちろん、自社製品の開発にも力をいれていきたい。まずは（株）アンビテックスさんと協業で独自のブランドを立ち上げ、インターネットでの販売を始めた。しかし、WEB上には数えきれないほどのサイトがあり、その中で目立つには時間がかかる。

そこで着目したのが、テレビショッピング。2019年11月からは全く新しいブランドを立ち上げ、テレビでの販売も進めている。年配のレディース層へ向けたアプローチとする予定だ。自社製品の開発と合わせ、既存や新規の販路拡大にもより一層力を入れていきたいと考えている。

消費者との接点を増やすために、媒体のチャンネルを問わず、様々な手法に取り組んでいきたい。



専務取締役
坂田 徹氏

CASE

17

平成29年度

株式会社マックスニット

新しい製法で差別化を図る、 アパレルメーカー



Info

■ 繊維工業業

株式会社マックスニット

住 所 新潟県見附市今町 7-14-34

T E L 0258-61-2000

U R L <https://www.maxknit.com>



会社 HP